

市の展開する文化政策に疑問符 美術品展示費用等約8千万円削除

松戸市議会3月定例会での令和5年度予算審査において、大きく問題視された政策が、森のホール21内のレストラン跡地に、寄贈された陶器を常設しようとするものです。世界的に有名な陶器ブランドであるマイセンのコレクション約120点の寄付を受けたのは本年1月。このうちおよそ1/3を森のホール内のレストラン跡地に展示し、無償で観覧できるようにするとのことでした。

しかし、私が所属する市民クラブをはじめ、市議会の数会派がこの案に疑問符を投げかけました。その主な理由には、文化施設の活用方法として杜撰で乱暴な取り組みだ、なぜ博物館を活用しないのか、もしはじめから常設展示ありきの寄付であれば条件付き寄付にあたる可能性もあり市の説明が不足している、などがありました。結果的には、寄贈品の安易な展示場開設は承認できかねるという理由から同政策は否定され、関連費用約8千万円を減額しました。甘い制度設計は、市民にも寄贈者にも失礼で、市には猛省を求めます。



統一地方選前半3月31日告示 4月9日に新県議員が決定!

令和4年6月には松戸市長選挙が、同年11月には松戸市議会議員選挙が行われ、続いて県議会議員選挙が行われます。統一地方選挙が制度化されたとき、松戸ではそれぞれの選挙の間隔が空きすぎていたため、一度にまとめて選挙を行う体制を作れませんでした。そのため、数か月おきに市長、市議会、そして県議会議員の選挙をしなければならないままなのです。

7議席を争う本市の県議会議員選挙には10人もの候補者が立候補し、混戦が予想されていますが、ここで気になるのはやはり投票率です。連日大手メディアで報道される国政や、身近な政策を展開する市政と比べて、都道府県議会選挙はどこか捉えどころのない印象を抱く人が少なくありません。しかし、保健所や児童相談所といった今日役割の強化が期待される機能をはじめ、数多くの重要施策を担っています。それぞれの視点で候補者を選び、高い投票率で選挙を終えたいものです。



HPもご覧ください! **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ 信矢 プロフィール

昭和42年 松戸市常盤平生まれ
昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
昭和58年 青山学院 中等部 卒業
昭和61年 青山学院 高等部 卒業
最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師(地方自治論)
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏(エレキギター)、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部